

Since 1976

もとしかわしょうがっこう

れいわ ねん がっ にち  
令和2年4月30日



がっこうだより

がっこう  
5月号

Email y3motois@edu.city.yokohama.jp

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

よこはましあおばくうつく おか  
横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

もとしかわしょうがっこうのじどうのみなさんへ

## すなおな思いをことばに

こうちょう  
校長 すずき あきら

校長先生の家には、三人の子どもがいます。子どもといっても、もう大人になっています。ずいぶんむかしのことになりませんが、ことばが上手でなく、やっと会話ができるようになったころの長男が、ほいくえんの帰りに言いました。

「たいへんだよ。おつきさまが、くものうしろに にげちゃうよ。きつと、あめが おっかけてるんだよ。はやくかえろう。」

そのとき校長先生は、「ふうん。そういうふうを感じるのか」と思いました。

べつのは、雨がふったとき、かさに風をうけて「かぜさんが、たっちゃんのかさをほしがってるよ。」

夜、道路をわたるときに、左右のかくにんを十分にわたりとして、「くるまさんのでんきがおおきくなって、おこられちゃった。」

子どもって、大人とはまったくちがう感じ方をしているんだなあと、心から思いました。そして、こんなにすなおに感じる心をもっているのなら、もっとのびしてあげたいなあと思いました。

校長先生は、「かぜが、かさをほしがってるよ。」と聞いて、「ちがうよ。かさをひらいているから風のていこうをうけやすいんだよ。とばされないようにしっかりもちなさいね。」とは、こたえませんでした。

「そうだね。風さんも、たっちゃんのかっこいいかさをみて、うらやましくなったのかもかもしれないね。」とこたえました。

そのときの校長先生のことばは、正しくはなかったかもしれないけれど、大きくなった「たっちゃん」は、すなおな人にそだっています。

みなさんも、感じたままのすなおな思いをことばに出してみてくださいね。お休みの日がつづく毎日を上手につかって、「日記」をかいてみませんか。

